

よこすか ECO通信

No.52
(令和6年3月)



《発行》
横須賀市、
環境教育・環境学習推進懇話会

ゆたかな自然とふれあえるまち・よこすか

◆「公園のまち」横須賀

横須賀市の大きな魅力のひとつは、海・山・川などのみどりがゆたかなところ。横須賀市民一人当たりの公園面積は15.18m²/人（令和2年度末時点）で、神奈川県内でも特に整備が進んでいると言えます。これらの公園は、子どもから高齢者まですべての世代の人々が身近な自然にふれあえる大切な場所として親しまれています。

自然とのふれあいは、五感をフルに使い、全身で楽しむ体験ができます。この春は、市内の公園で横須賀のみどりとふれあってみませんか。



◆横須賀市の開花情報

市内の公園では、公園ごとにさまざまな花が咲き、彩り豊かに季節を感じることができます。各公園の指定管理者のホームページでは、それぞれの公園の開花情報をお知らせしているので、お出かけの際にはぜひチェックしてみてください。

田浦梅の里

ウメ 1月～3月
ニホンスイセン 12月～2月

しょうぶ園

シャクナゲ 4月～5月
フジ 4月下旬
ハナショウブ 6月

太田和つつじの丘

ツツジ 4月～5月

ソレイユの丘

ナノハナ 12月～3月
ヒマワリ 7月～8月
コスモス 10月～11月

ヴェルニー公園

春バラ 5月～6月
秋バラ 10月～11月

くりはま花の国

ポピー 4月～5月
コスモス 9月～10月
各種花壇花 1月～12月





春の環境学習イベントのお知らせ



横須賀市自然・人文博物館

◆博物館クイズ「すかぞう」の挑戦状



展示を見ながらクイズを解き、合言葉を完成させよう。合言葉を見つけると、記念品がゲットできるかも！？

日時 3月16日(土)から4月7日(日)まで 9:00~17:00

場所 横須賀市自然・人文博物館 本館

備考 参加無料。問題用紙は本館2階受付で配布します。

※「すかぞう」は横須賀で見つかったナウマンゾウの化石にちなんだキャラクターです。

◆【開催中】トピックス展示「新着標本2024」



初めて公開される、新たに収集または分類整理された自然誌資料のうち、学芸員おすすめの資料を展示します。

日時 4月21日(日)まで 9:00~17:00

場所 横須賀市自然・人文博物館 本館展示室

◆身近な自然でミニクラフト

身近な植物の押し花素材を使ったカードやしおりをつくります。

【日時】 3月30日(土)
10:30~15:30 (時間内で30分)

【場所】 本館

【参加費】 無料

【定員】 参加自由
申込不要



◆天神島ガイドツアー(3月)

毎月その時々天神島臨海自然教育園の見どころを、現地スタッフが紹介します。

【日時】 3月24日(日) 13:00~14:00

【場所】 天神島臨海自然教育園

【参加費】 50円

【定員】 先着20人、申込不要
小学生以下は保護者同伴。
天神島ビジターセンター入口に
集合してください。



【問い合わせ先】

横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 横須賀市深田台95番地 ※休館日：月曜(祝日・振替休日の場合は翌日)
電話：046-824-3688 E-mail：m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

◆横須賀いきもの調査隊

令和6年度の隊員を募集します！

生きものに興味が有り、生きものについて詳しくなりたい方、隊員になってみませんか？

春と秋の観察会で学芸員や専門家の方たちから生きものについて学びます。

そして、身近な場所でも生き物の調査をしてみましょう。

【日時】 5月11日(土) 9:30~12:00

9月28日(土) 9:30~12:00

雨天の場合、それぞれ翌日(5月12日(日)、9月29日(日))に延期

【場所】 県立観音崎公園(横須賀市鴨居4-1262)

【対象】 市内在住・在学・在勤の5歳以上の方(小学生以下は保護者同伴)

【費用】 無料

【定員】 抽選20人

【持ち物】 長袖、長ズボン、歩きやすい靴、帽子、飲み物

【注意事項】 歩きやすい服装(特に靴)でお越しください。

熱中症予防のため、帽子、飲み物をお持ちください。

【申込方法】 4月11日(木)~4月20日(土)に

横須賀市コールセンター(046-822-4000)または以下のURL(市ホームページ)から申込

(https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/event_form/5555/2024ikimonochousatai.html)

4月26日(金)までに当選者・落選者全員にメールまたは郵便で連絡します。



問い合わせ先

横須賀市建設部自然環境・河川課

電話：046-822-9749

E-mail：ne-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

寒くきびしい冬を乗り越えると、春がやってきます。暦のうえでの春の訪れは2月初旬の「立春（りっしゅん）」で、博物館のまわりの平和中央公園ではスイセンが咲き、梅が見ごろを迎え、まだ若木のカワツザクラが咲きはじめます。こうした光景は春の訪れを感じさせてはくれますが、2月はまだ寒の戻りも厳しく油断は禁物です。3月には暦のうえで虫たちが冬ごもりをやめて姿を現わすといわれる「啓蟄（けいちつ）」を経て、中旬を過ぎた「春分（しゅんぶん）」にもなると、私たちにとって目にも肌にも春を感じさせるようになります。それほど熱心に探さなくても、花のまわりで虫たちに出会えます。春の花を訪れる昆虫の例をあげます。

チョウのなかま：3月に見られるチョウの多くは成虫で越冬する種で、目立って見られるのはキタテハ（図1）です。4月に入ると、さなぎで越冬するアゲハチョウ類などが加わり、いっそうにぎやかになります。

ハチのなかま：ミツバチの働きバチは、ひときわ早くウメの花などにもやってきます（図2）が、暖かくなるにつれ数が増えます。4月に入るとオスの触角が長くなるニッポンヒゲナガハナバチ（図3）も見られます。

ハエのなかま：小型のハエやアブは2月でも花のまわりで見ることがありますが、3月に入ると、大型のハナアブではいち早くアシブトハナアブ（図4）が目立つようになります。

コウチュウのなかま：ナナホシテントウは2月でも成虫を目撃しますが、アブラムシにありつけない時期は花の蜜をなめている姿を見ることがあります。モモトカミキリモドキ（図5）は春の花に集まる目立つサイズのコウチュウの代表例です。

バッタのなかま：キリギリスの一種であるヤブキリは近縁種のなかでいち早く孵化して活動を始めます。花の上にとまる体長1 cmくらいの緑色のバッタを見つけたら、それは花粉を食べているヤブキリの若い幼虫（図6）です。



図1 タンポポ花上のキタテハ。よく見ると2匹いる。(3月下旬)



図2 満開のウメで花粉を集めるニホンミツバチ。(2月上旬)



図3 シロツメクサで吸蜜するニッポンヒゲナガハナバチのオス。(4月下旬)



図4 クレソンの花を訪れるアシブトハナアブの黒化型メス。(4月上旬)



図5 ノイバラの花粉を食べるモトカミキリモドキのオス。(3月下旬)



図6 タンポポの花粉を食べるヤブキリの若齢幼虫。(4月上旬)

2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します

横須賀市 ゼロカーボンシティ宣言



みなさまからのE C Oな情報も募集してます。



《発行》横須賀市、環境教育・環境学習推進懇話会 《協力》横須賀市自然・人文博物館

《発行元》〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境部環境政策課

TEL: 046-822-8419 FAX: 046-823-0865

E-mail: lege-le@city.yokosuka.kanagawa.jp



☆カラー版は横須賀市ホームページから「ECO通信」で検索！
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4105/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

☆「環境教育・環境学習推進懇話会」は、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。